サポート情報記事

Microsoft Teams に RSS Reader を追加する方法

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

はじめに 4

前提条件 4

手順 **1. Teams** でアプリを利用できるようにする 4

手順 **2. RSS Reader** をチャネル タブとして追加する 5

手順 **3. RSS Reader** を個人用アプリとして追加する 6

手順 **4.** 個人用アプリの構成を保存する 7

Teams にフィードが表示されない場合 8

テーマとモバイル 8

用語 10

はじめに

多くのチームは、イントラネットではなく **Microsoft Teams** で業界ニュースを追っています。RSS Reader は Teams アプリケーションとしても提供されるため、同じ集約フィードをチームが作業する場所に置くことができます。**チャネルのタブ** (独自のソースを持つプロジェクト チームのニュース ウォール) として、または左側のレールの**個人用アプリ** (組織の全員に対して 1 つの構成) としてです。

この記事では、3 つの手順を扱います。Teams でアプリを利用できるようにする、チャネル タブまたは個人用アプリとして追加する、個人用アプリが使用する構成を保存する、です。**RSS** Reader パッケージが既にテナントのアプリ カタログに展開されていることを前提とします (KB10035. SharePoint Online に Vitextra 製品をインストールする方法を参照)。

メモ

Teams の RSS Reader は、**SharePoint** ページで動作するものと同じ SharePoint Framework Web パーツです。API アクセス許可は必要なく、テナントごとの 1 つのライセンスで SharePoint と Teams の両方をカバーします。

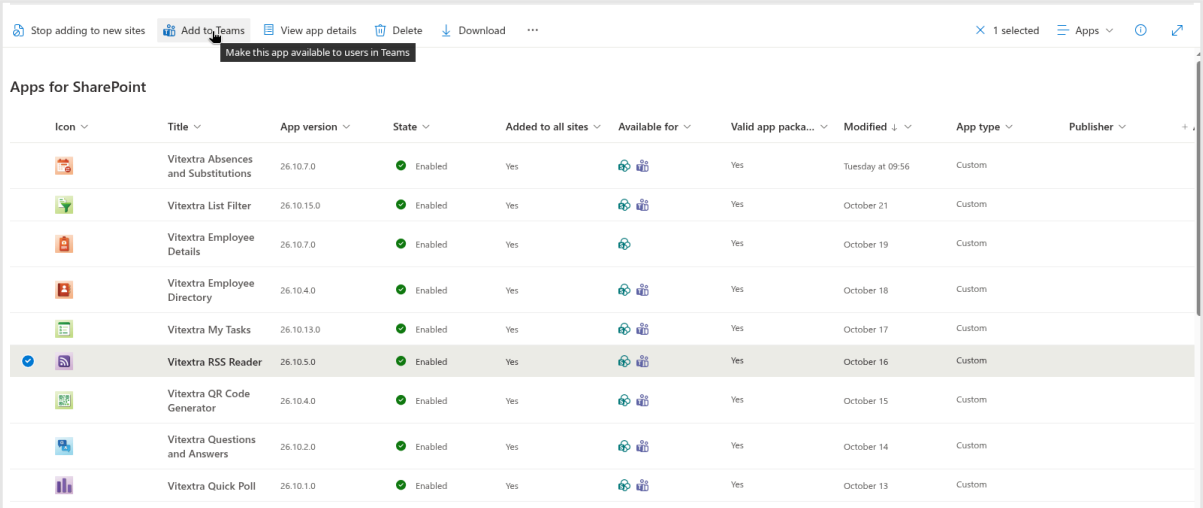
前提条件

- アプリを Teams に発行するには、SharePoint アプリ カタログを管理できる必要があります。通常は **SharePoint 管理者**ロールです。
- 発行されたアプリを個人用アプリとして追加するには、Teams 管理者が組織用に構築されたカスタム アプリを許可している限り、特別なアクセス許可は必要ありません。
- チャネル タブを追加するには、チームのメンバーである必要があります。チームの所有者は、タブを追加できるユーザーを制限している場合があります。
- 個人用アプリの既定の構成を保存するには、Web パーツを含む SharePoint ページを編集できる必要があります。

手順 1. Teams でアプリを利用できるようにする

1 Microsoft 365 管理センターを開き、**開く**をクリックします。
2 **アプリの管理**ページで **Vitextra RSS Reader** パッケージを選択し、**Teams に追加**をクリックします (クラシックの **SharePoint 用アプリ**ライブラリでは、同じコマ

ンドはリボンのファイルタブにある **Teams** に同期 (Sync to Teams) です)。



Teams へのアプリの公開

アプリは、組織の **Teams アプリ** ストアに **RSS** (*Vitextra RSS Reader*) という名前で発行されます。アプリは SharePoint パッケージとリンクされたままになります。アプリ カタログにインストールした新しいバージョンは Teams でも使用されます。KB10050. SharePoint Online で Vitextra SPFx ソリューションを更新する方法を参照してください。

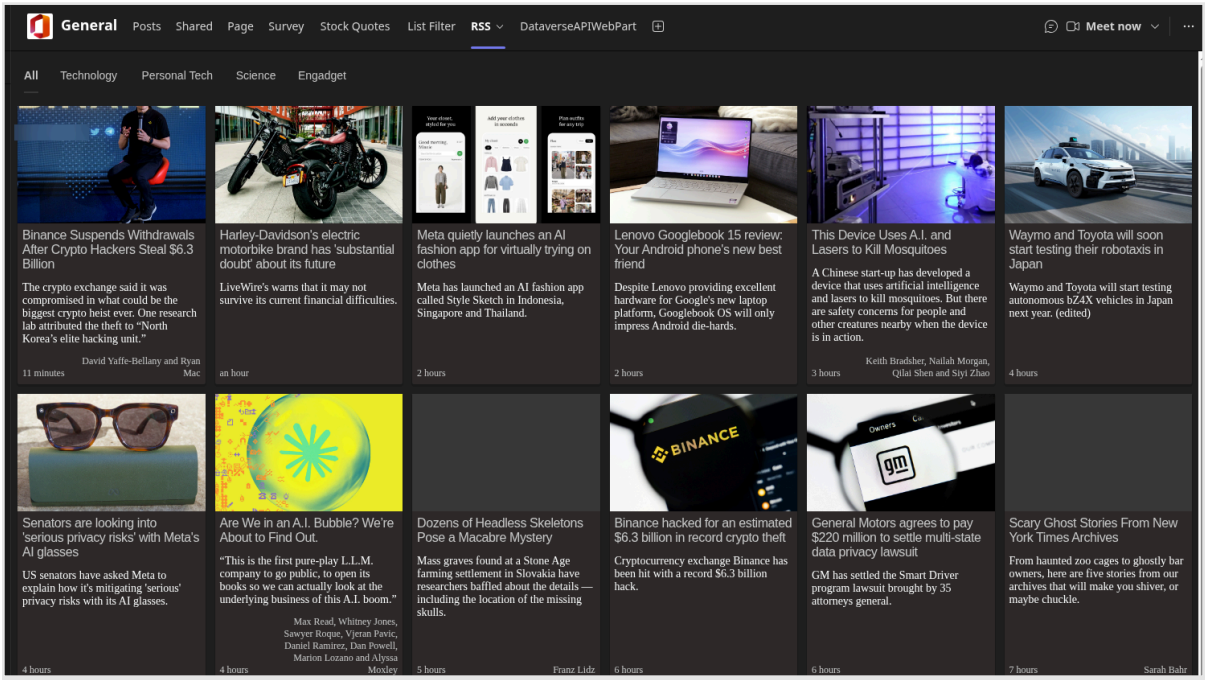
> **メモ**
>
> 別の方法として、Teams 管理者が Teams 管理センターの **Teams アプリ → アプリの管理 → 新しいアプリをアップロード**で Teams アプリ パッケージを手動でアップロードすることもできます。パッケージは、製品に含まれている `TeamsSPFxApp.zip` ファイルです。**Teams に追加**のほうが簡単な方法であり、推奨されます。

手順 2. RSS Reader をチャネル タブとして追加する

チャネル タブは、他のチャネルや個人用アプリとは独立した**独自の**ソースと設定を持ちます。特定のフィードのセットを追うチームに適した選択です。

1 チームとチャネルを開き、タブ バーの **+** をクリックします。
2 アプリの一覧で **RSS** を見つけて (検索ボックスを使用)、選択します。
3 **追加** (または**保存**) をクリックします。タブが開き、Web パーツのプロパティ ウィンドウも一緒に表示されます。
4 **ニュースフィード**グループで**構成**をクリックし、チームのフィードを入力しま

す。**表示**グループと**動作**グループでレイアウトとその他のオプションを設定し、プロパティ ウィンドウを閉じます。オプションは SharePoint ページと同じで、KB10367. RSS Reader Web パーツを追加して構成する方法で説明しています。



Teams チャネルのタブ内の Web パーツ

チームの所有者は、タブのメニューの**設定**で後から設定を変更できます。タブのソースはタブと一緒に保存され、**設定の保存** (手順 4 を参照) の影響を受けません。

手順 3. RSS Reader を個人用アプリとして追加する

1 Microsoft Teams で、左側のレールの**アプリ**をクリックします。
2 **組織用に構築**を選択します。自組織のアプリ カタログから発行されたアプリは、ここに表示されます。
3 Vitextra が発行した **RSS** タイルを見つけて開きます。
4 **追加**をクリックします (*チームに追加*ではありません)。

アプリが左側のレールに表示され、管理者が構成したフィード (手順 4) が表示されます。個人用アプリにはプロパティ ウィンドウがありません。ユーザーは記事を読み、ソースを切り替え、絞り込み、検索できますが、フィードを変更することはできません。

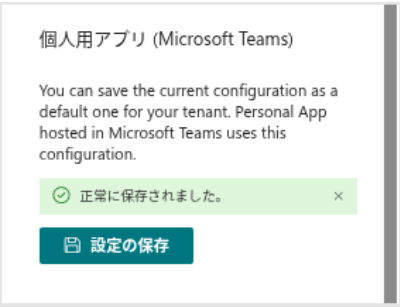
ヒント

この操作で、現在のユーザー用にアプリがインストールされます。左側のレールに常に表示するには、アプリのアイコンを右クリックし、**ピン留め**を選択します。RSS Reader を全員または特定のユーザー グループの左側のレールに配置するには、Teams 管理者が Teams 管理センターの**アプリのセットアップ ポリシー (Teams アプリ → セットアップ ポリシー → ピン留めされたアプリ)** にアプリを追加します。

手順 4. 個人用アプリの構成を保存する

個人用アプリは、管理者がテナントに対して一度保存した**既定の構成**を読み取ります。保存されるまで、個人用アプリには Web パーツのサンプル フィードが表示されます。

1 RSS Reader Web パーツを含む任意の SharePoint ページを編集モードで開き (またはテスト ページに Web パーツを追加し)、個人用アプリの見た目とまったく同じになるように構成します。フィードとその名前と順序、レイアウト、スイッチ、並べ替え順、更新です。
2 プロパティ ウィンドウを開き、**個人用アプリ (Microsoft Teams)** グループを展開して、**設定の保存**をクリックします。
3 メッセージ*正常に保存されました。*が表示されるのを待ちます。



個人用アプリの構成を保存する

保存される内容: ソース、レイアウト、**表示するアイテム数**の値、**イメージ**、**フィルター**、**分類**、**検索ボックス** の各スイッチ、並べ替え順、自動更新の設定、つまり Web パーツのタイトル以外のすべてです。構成はお客様のテナントと製品に対して Vitextra のサービスに保存されるため、保存に使用したページには依存しません。保存後にテスト ページから Web パーツを削除してもかまいません。再度保存すると以前の構成は上書きされ、個人用アプリは、次にユーザーがアプリを開

いたときに変更を取り込みます。

警告

設定の保存は、個人用アプリにのみ影響します。チャネル　タブは独自のソースを保持し、SharePoint　　ページがこの操作で変更されることはありません。逆に、ページ上の Web パーツを編集しても、**設定の保存**をもう一度クリックするまで個人用アプリは変わりません。

Teams にフィードが表示されない場合

- **組織用に構築にアプリがない** - パッケージが Teams に追加されていない (手順 1)、または Teams 管理者がカスタム アプリをブロックしています。Teams 管理センターの **Teams アプリ → アプリの管理**を確認してください。アプリ *RSS* が存在し、許可されている必要があります。
- **個人用アプリにサンプル　フィードが表示される** - まだ構成が保存されていません。手順 4 を実行してください。
- **ページを変更したのに個人用アプリに古いフィードが表示される** - 変更後に**設定の保存**がクリックされていません。個人用アプリはページを読み取りません。
- **チャネル タブが空** - タブのメニューの**設定**を開き、**ソース**に少なくとも 1 つのソースが構成されていることを確認してください。
- *申し訳ございません。問題が発生しました...* - Teams クライアントが Vitextra フィード　　サービスに到達できませんでした。ユーザーのネットワークから `vitextra.com` に到達できることを確認してください (KB10373. RSS フィードが読み込まれないのはなぜですか? RSS Reader のトラブルシューティングを参照)。
- **アイテムの代わりにライセンス メッセージが表示される** - 試用期間が終了した、またはテナントにライセンスが割り当てられていません。KB10365. Vitextra Web パーツに「無料試用版のご利用ありがとうございます」と表示されるのはなぜですか? ライセンス メッセージと対処方法を参照してください。

テーマとモバイル

RSS Reader は Teams クライアントのライト テーマとダーク テーマに従い、レイアウトはタブの幅に適応します。カード　レイアウトは、狭いウィンドウでは列数が少なくなり、Teams モバイル アプリでは 1 列になります。記事はデバイスのブ

ラウザーで開きます。

用語

Microsoft Teams

Microsoft Teams は、オンライン会議、ライブ イベント、ドキュメント共有の機能を備えた、ビジネス コミュニケーション向けのチャット ベースのコラボレーション プラットフォームです。

RSS

RSS (Really Simple Syndication) は、Web サイトの更新情報をユーザーやアプリケーションに標準化された機械可読形式で配信するために使用される、一般的な Web フィード形式です。この形式は、ニュース記事、ブログ投稿、その他の頻繁に更新されるコンテンツの配信に広く使用されています。

SharePoint

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

Teams アプリ

Teams アプリは、タブ、ボット、メッセージ拡張機能、会議拡張機能などの機能で Microsoft Teams を拡張するアプリケーションです。Teams アプリは、Teams アプリ ストア、AppSource、または組織のカタログを通じて、アプリ パッケージとして配布されます。